



よさの

第38号 R2.12発行

編集発行

与謝野町農業委員会

広報編集委員会

与謝郡与謝野町字加悦433番地
(加悦庁舎2階)

TEL:0772-43-9023 (直通)



りんご祭でのポニー体験乗馬



11月21日に滝の喫茶あつぷるふぁーむ周辺でりんご祭が開催されました。今年は新型コロナウイルス感染症対策のため規模を縮小しての開催となりましたが、会場は多くの人で賑わっていました。特設ステージではバンド演奏や豪華景品が当たる抽選会が行われ、近くの道の駅ではポニーの乗馬体験（写真）が行われていました。また、多くの出店もあり、地元の草餅やコロッケ、手打ちそばなどが販売されていました。

今年はコロナの影響で多くのイベントが自粛されているため、来場された方はとても楽しそうにされていました。

【目次】

新嘗祭に米と粟を献上されました……………	2
農商ビジネス商談会「Food Collabo Labo2020」が開催されました…	2
与謝野町産ホップを使用したクラフトビールが販売されました…	2
京のプレミアム米コンテストで最高金賞に輝く……………	3
農林水産業功労者表彰、若手農林漁業者表彰……………	3

新型コロナウイルス感染症対策支援事業説明会を開催…	3
熊の被害にあわないための注意点……………	3
認定農業者と農業委員会委員が意見交換……………	4
農地パトロールを実施……………	4
編集後記……………	4

新嘗祭に米と粟を献上されました

五穀豊穡に感謝する宮中行事 新嘗祭が 11 月 23 日に行われ、京都府代表として町内の 2 名の農家が米と粟を献上されました。献上されたのは、米が滝地区の西川誠司さん、粟が石川堂谷地区の伊達良一さんです。お二人とも心を込めて栽培をされ、良質の米と粟が無事に献上されました。

西川さんは、「無事に収穫を終え献上することができた事は喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。これからも気持ちを新たに農作物の生産に邁進して頑張りたい。」と話されていました。

また、伊達さんは、「作付けが始まってからは毎日が緊張の日々で、無事収穫を終えた時は本当に安堵の気持ちでした。これからは地域とともに家族で力を合わせ頑張りたい。」と話されていました。



山添町長へ献上の報告に来られた
西川 誠司さん（中央）と伊達 良一さん（右）

農商ビジネス商談会「Food Collabo Labo2020」が開催されました

11 月 18 日（水）に舞鶴赤れんがパークにてフードコラボラボ 2020 が開催されました。この商談会は与謝野町を含む京都府北部 5 市 2 町の農産物や加工品の生産者と事業者が一堂に集まり、商品のアピールや販路開拓をしようとするものです。今年で 5 回目の開催となり、新型コロナウイルスの影響も懸念されましたが、例年と変わらず盛大に開催することができました。

与謝野町からは(有)誠武農園、(株) AGRIST（アグリスト）が生産者として出展され、新たな販路開拓や農商工連携の可能性を模索されていました。



与謝野町産ホップを使用したクラフトビールが販売されました

与謝野町ではビールの原料であるホップを生産しており、日本各地のブリュワーとコラボし、クラフトビールが作られております。そんな中、地元与謝野町の「かけはしブルーイング」から、与謝野ホップを使用したビールブランドの第 1 弾として「ASOBI」がクラウドファンディングで販売されました。

かけはしブルーイングの母体となる(株)ローカルフラッグは、与謝野町出身の濱田祐太さんが大学在学中に起業された会社です。



京のプレミアム米コンテストで最高金賞に輝く

京都府主催の第4回「京のプレミアム米コンテスト」において、府内
でおいしいお米作りに取り組む134の生産者から応募された154点
から、伊達農園 伊達 正将さん（石川）が出展したキヌヒカリが、この
コンテストで一番上位の賞である最高金賞に選定されました。

伊達さんは、「伊達農園として美味しいお米作りに取り組んできたこ
とを評価されたことが嬉しい。丹後のお米が美味しいということを知
ってもらえればありがたい。」と話されていました。



農林水産業功労者表彰、若手農林漁業者表彰を受賞されました

11月28日に京都パルスプラザにおいて、京都府農林水産業功労者表彰等授与式が開催されました。
町内では、塩見 文雄さん（香河）が功労者表彰、太田 桂史さん（石川）と成毛 一生さん（石川）
が若手農林漁業者表彰を受賞されました。

農業者向け新型コロナウイルス感染症対策支援事業説明会を開催

11月4日役場加悦庁舎で新型コロナウイルス感染症対策支援
事業の説明会が開催され、多くの農業者が参加されました。説明
会では、国、府、町が実施している各種支援制度について説明
があり、参加した農業者からは質問や意見が出され、活発な
議論が行われました。

支援制度の説明の後には、町が農業施策で連携しているトヨ
タ自動車(株)や東邦物産(株)から取組状況の報告がありました。



⚠️ 熊の被害にあわないための注意点 ⚠️

与謝野町内で10月24日にクマによる人身被害が発生しました。クマの被害にあわないため
次のことに注意しましょう。

【クマと遭遇しないために】

登山・トレッキングなどで山林に入る際は、「クマの生息域に立ち入る」ことを常に意識し、
少しでも出会わないようにする対策をとることが大切です。

- 自分の存在を知らせるため、熊よけ鈴やラジオなど音がでるものを携帯してください。
- クマ出没情報に留意し、クマが活発に行動する朝夕は特に注意してください。
- 頻繁にクマが出没する地域では、クマの隠れ場所となる藪や雑草が繁茂した土地の管理を
できるだけ行ってください。

【クマを引き寄せないために】

- 家の周りや農地に、生ごみや不要な野菜など餌になるものを放置しないようにしてください。
- 果樹には、トタン板で幹を巻いたり、実を早めに収穫するなどし、クマを寄せ付けないよ
うにしてください。また、収穫を行わない不要な果樹については除去を検討してください。
- 草刈機などに使われるガソリンなどの揮発性物質もクマの誘引物になるため、保管場所等
に注意してください。

認定農業者会と農業委員会委員が意見交換

農業委員会内の専門委員会である農業振興対策委員会は10月12日（月）、役場加悦庁舎元気館において、認定農業者会のメンバー7人と意見交換会を実施しました。今回はテーマを「町への要望事項について」として行い、参加された認定農業者から様々な意見や要望等が出されました。

主な意見としては「農地の生産性が上がる施策の充実」「新規就農者を研修目的等で受け入れる側への支援の充実」「農業者への補助制度、施策の充実」といったものでした。

農業委員会では今回の意見を参考に取りまとめを行い、町長に意見書を提出する予定としています。



農地パトロールを実施

農業委員会では11月18、19日の2日間、全委員を2グループに分けて農地パトロールを実施しました。実施個所は、平成30年度と令和元年度に農地法3条（農地としての売買）の許可を受けた農地や形状変更（田の嵩上等）の承認を受けた農地をはじめ、形状変更の工期延長が繰返し行われている農地です。農地法3条許可された農地では耕作の状況を確認し、形状変更の農地では計画の実施状況を確認しました。パトロール結果としては、ほとんどの農地で適正に実施されていましたが、形状変更した一部の農地では耕作が行われていなかったり、計画と異なる農地などが見受けられました。引き続き委員や事務局による監視や指導を行っていく予定としています。



農業者年金は

メリットがいっぱい

- ・ 積立方式なので安心！
 - ・ 支払った保険料は全額社会保険料控除の対象！
 - ・ 一定要件を満たす農業者には保険料の国庫補助あり！
 - ・ 一定の金額の範囲で保険料を自由に決定！
 - ・ 80歳までの保証付き！
- 《加入要件》
- ・ 国民年金第1号被保険者であること
 - ・ 年齢が20歳以上60歳未満であること
 - ・ 年間60日以上農業に従事していること

老後に備えて農業者年金に加入しましょう。

まずは、JA又は農業委員会事務局にご相談ください。

（電話 4319023）



編集後記

今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により予期せぬ出来事となってしまい、目に見えないウイルスによって皆様の生活や仕事においても影響を受けておられると思います。

そのような中、農業情勢、気象条件など更に不安がぬぐえませんが安心安全な作物を作るという想いを大切に農業ができるよう取り組んでいただきたいと思います。

今年も残すところあとわずかとなりましたがコロナが終息する事を信じ健やかに新年を迎えられますようお祈りいたします。



（木村 有紀子 副委員長）

広報編集委員

水口 俊彦 委員長
木村 有紀子 副委員長
小田 則子 委員
廣野 伸一 委員
伊達 幸男 委員
小田 全記 委員

